



® 環境省

エコアクション21

認証番号0010989

株式会社今後建設

2023 年度環境経営レポート

(対象期間: 自 2023年3月1日 至 2024年2月29日)



湯ノ子川 砂防堰堤工事

発行日: 2024年6月30日

環 境 経 営 方 針

山、川、海の共生する香美町の自然を守る為、株式会社今後建設は環境保全に努め、建設業が担う役割を通して環境負荷の低減を行い地域に貢献する会社を目指して環境活動を自主的・積極的に取り組みます。

1. 当社の建設現場、事務所業務に伴う環境負荷の低減に努めます。
 - (1) 電力、建設重機械・自動車燃料の使用による二酸化炭素排出量の削減
 - (2) 廃棄物の分別及び排出量の削減
 - (3) 水使用量の削減
 - (4) 環境配慮の工法の採用及び環境配慮型重機の使用
 - (5) 建設業を取巻く課題に取り組む、次世代につなげます。
2. 環境経営システムの継続的改善に努めます。
3. 美しい地域環境を守る為、関係する環境法規を守り、地域社会貢献活動に積極的に参加します。
4. 全従業員、及び協力業者の方々に環境経営方針を理解して頂くよう周知徹底します。

制定日： 2020年10月8日
株式会社 今 後 建 設
代表取締役 今 後 武 司

□組織の概要

- (1) 名称及び代表者名
株 式 会 社 今 後 建 設
代表取締役 今 後 武 司
- (2) 所在地
本 社 兵 庫 県 美 方 郡 香 美 町 村 岡 区 味 取 307
資 材 倉 庫 兵 庫 県 美 方 郡 香 美 町 村 岡 区 味 取 1056－1
- (3) 環境管理責任者氏名及び担当者連絡先
責任者 営 業 部 川 上 邦 彦 TEL：0796－95－0107
- (4) 事業内容
土 木 工 事 業
- (5) 事業の規模
年間完成工事高 6.99 億円（2023年3月 ～ 2024年2月）

	本社	資材倉庫	合 計
従業員	13	0	13
延べ床面積	130	1100	1230

- (6) 事業年度 3 月 1 日～翌年 2 月末日

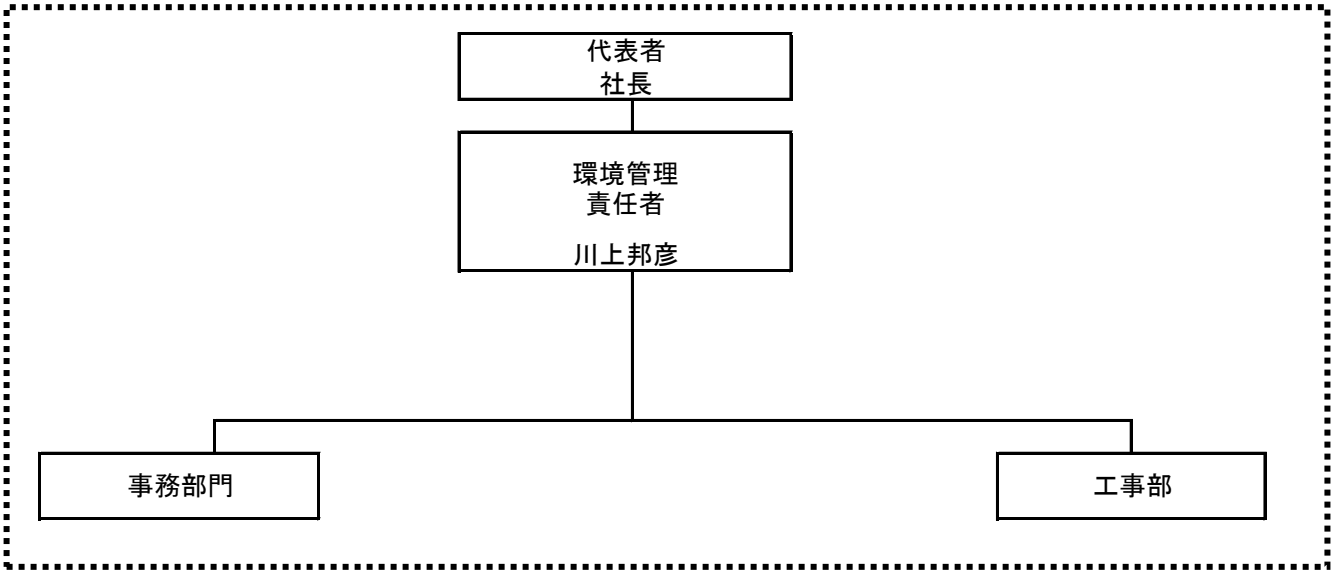
□認証・登録の対象組織・活動

登録組織名 株式会社 今後建設

対象事業所 本社・資材倉庫

事業活動： 土木工事業

・環境経営システム推進組織図



	役割・責任・権限
代表者（社長）	・環境経営に関する統括責任 ・環境システムの実施に必要な人、設備、費用、時間、技能、技術者の準備 ・環境責任者の任命 ・環境方針の策定・見直し及び全従業員へ見直し及び全従業員へ周知 ・代表者による全体の評価と見直し ・環境目標・環境活動計画の承認 ・環境活動レポートの確認・承認
環境管理責任者	・環境経営システムの構築、実施、管理 ・環境目標・環境活動計画の確認 ・環境活動レポートの作成 ・環境関連法規等の取りまとめ表の承認 ・環境活動の取組結果の代表者への報告 ・手順書の作成
部門長	・自部門における環境方針の周知 ・自部門に関する環境活動計画の実施及び達成状況の報告 ・自部門の想定される事故及び緊急事態への対応の為の手順書の作成・試行・訓練の実施・記録の作成 ・自部門の問題点の発見、是正、予防処置の実施 ・自部門の従業員に対する教育訓練の実施

□主な環境負荷の実績

項 目	単位	2023年度	2022年度	2021年度
二酸化炭素総排出量	kg-CO ₂	240, 513	225, 232	177, 437
電力使用排出係数	kg-CO ₂ /kwh	0. 486	0. 395	0. 509
廃棄物排出量	t	28	608	773
一般廃棄物排出量	kg	18	25	21
産業廃棄物排出量	t	27. 5	608	773
総排水量	m ³	340	366	369

年間総量	2021年度
電力使用量	10, 923kWh
ガソリン	12, 392ℓ
軽油	55, 281ℓ

2023,2022年度は下表に表示

排出係数;0.486←0.395←0.509kg-CO2/kWh [(株)ハルエネから(株)グリムスパワー 登録番号A0372 令和5年度]

□環境経営目標及びその実績

No..	年 度 項 目	2022年度 実績値	2023年度		2024年度	2025年度	
		(実績)	(目標)	(実績)	(目標)	(目標)	
1	電力による二酸化炭素削減	kg-CO2	4, 451	5, 504	5, 631	5, 575	5, 575
		基準年比	排出係数0. 395	2021年度 5, 560	達成率 98%	2023年度実績の99%	2023年度実績の99%
		年間総量 (kWh)	11, 270		11, 587		
2	自動車燃料による二酸化炭素削減	kg-CO2/km	0. 0781 (ﾌﾟﾘｳｽ)	0. 0788	0. 0748	0. 0773	0. 0773
		基準年比			達成率 105%	99%	99%
			0. 0437 (PHV)	0. 0437	0. 0432	0. 0433	0. 0433
		基準年比			達成率 101%	99%	99%
	年間総量 (ℓ)	12, 065		10,780			
3	重機建設機械による二酸化炭素削減	kg-CO2/ h	46. 2712 (PC200)	46. 4183	46. 5540	46, 088	46, 088
		基準年比			達成率 99. 7%	2023年度実績の99%	2023年度実績の99%
			40. 9048 (PC200HV)	40. 9551	40. 7707	40. 3630	40. 3630
		基準年比			達成率 100%	2023年度99%	99%
	年間総量 (ℓ)	74, 491		81,122			
二酸化炭素合計 (灯油231ℓ含む)		kg-CO2	225, 232		240, 513		
4	産業廃棄物のリサイクル率の向上	%	99	99	100. 0	94	94
		基準年比	(基準年2020年)	100%	達成率 101%	2023年度の101%	2023年度の101%
5	水使用量の削減	m ³	370	370	340	370	370
		基準年比	(基準年2020年)	100%	達成率 109%	100%	100%
7	工法・機械への環境配慮	—	2 件 (基準年2017年)	2 件	3 件	2 件	2 件
				100%	達成率 150%		
8	社会貢献 ・河川の清掃 ・各現場の地域に 沿った社会貢献活動	—	2 件以上 (基準年2017年)	各 2 回以上	2回	2 回以上	2 回以上
					達成率 100%		

コンクリート殻、アスファルト殻についてはリサイクル率は100% 4の算定式(%)=(Co殻+As殻)/(Co殻+As殻+混合廃棄物)
混合廃棄物コンテナ1個につき0.5tと計算する。

注釈: 尚、達成率は年度目標に対たいする数値
化学物質の使用は無い。

□環境活動計画及び取組結果とその評価、次年度の取組内容

数値目標:○達成(100%以上) △(95%以上) ×未達成(95%未満)

No.	取組み計画	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容*
1	電力による二酸化炭素削減		
	数値目標	目標	・本社事務所ではE V車の導入もあり増加、又完成工事高の増により倉庫での作業が増えた為、電力使用量の増加につながった。 ・排出係数の変更 (0.395→0.486) もCO2の排出量が増加している要因の一つ。 *本社事務所での残業等の時間管理(18時まで)、エアコンの設定温度(夏27°)を守る。 倉庫の使用電力の削減も、作業時間を18時までとする。
	・エアコンの設定温度の適正化 ・不要照明の消灯	5,504kg-CO2 実績 5,631kg-CO2	
		達成率(△)	
2	自動車燃料による二酸化炭素削減		
	数値目標 (kg-CO2/km)	プリウス (○)	・HV(プリウス)、PHVの慣れ低燃費運転ができた。 ・一般道、高速道ともに一定速度で運転できた。 *来期は燃料効率の良い車種に入替。
	・ルートを決めて、余裕ある運 ・低燃費車への更新(予定あり)	目標 0.0788 実績 0.0748	
		PHV (○)	
		目標 0.0437 実績 0.0432	
3			
	数値目標 (kg-CO2/h)	PC200 (△)	・今期工事は重機械、大型ダンプの使用の工種が多く消費量が多く、それに伴いPC200は時間当たりの排出量も増えた。 *大型重建設機械では負荷の低減、アイドリングストップの励行を行う。2011年(4次規制)の導入を検討する。
	・過重負荷の低減、アイドリングストップ ・低燃費型機械への入替	目標 46.4183 実績 46.5540	
		PC200HV (○)	
		目標 40.9551 実績 40.7707	
4	産業廃棄物のリサイクル率の向上		
	数値目標	目標 99%	・混合廃棄物のコンテナは現場毎に1個で変わらないが、今期は再資源化可能のAs殻、Co殻の処分が減って目標値を下回った。 *大型土のうの再利用、使いまわしを行う。 *鉄くず専用のボックスを設置し再資源化に努める。 *木製型枠等の再々利用、廃プラ等廃棄物の低減に努める。
	・再資源化可能物の分別 ・資材の再利用の促進	実績 93.2%	
	As殻+Co殻 As・Co殻+混合廃棄物	達成率(△)	
5	水使用量の削減		
	数値目標	目標 370m ³	・本社事務所での現場書類の作成が各現場ハウスで行った事によりトイレ使用水の減少が著しかった。 *引き続き、洗車時の地下水の利用を行う。
	・節水シールの貼り付け ・社用車洗車時の節水 ・地下水の利用	実績 340m ³	
		達成率(○)	
7	工法機械への環境配慮		
	数値目標	目標 2件	・低燃費型の機種を導入した。 *低燃費型機械の採用(購入、リース時)に努める。 *工法の選定で低騒音、低振動、工期短縮を施主に提言する。
	・環境配慮型重機の選定 ・環境配慮工法の社内研修会 ・低燃費型機械への入替	実績 3件	
		達成率(○)	
8	社会貢献		
	・河川の清掃	目標 各2回以上	河川清掃(新温泉土木事務所主催)、自主で現場周辺の草刈を7・9・10月に実施した。 *来年度以降も県・町主催、自主での河川清掃を行う。 *矢田川漁協からの要請(アユの稚魚放流)に参加する。
	・各現場の地域に沿った社会貢献活動	実績 2回	
		達成率(○)	

□環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無

法的義務を受ける主な環境関連法規制は次の通りである。

遵守評価日
2024年 6月 27日

No.	適用される法規制	適用される事項（施設・物質・事業活動等）	
	法律名称	遵守すべき内容	遵守評価
1	廃棄物処理及び清掃に関する法律	委託契約の締結・契約書の保管	遵守
		産業廃棄物管理票交付等状況報告書の提出	遵守
		マニフェスト伝票の保管	遵守
		自社による運搬時の表示、書類携行	遵守
2	建設リサイクル法	対象建設工事の届出	遵守
		発注者への再資源化等完了報告と記録の保存	遵守
3	騒音規制法	特定建設作業の事前届出、規制基準の遵守	遵守
4	振動規制法	特定建設作業の事前届出、規制基準の遵守	遵守
5	消防法	消火器の設置	遵守
		危険物の貯蔵・取扱いの届出（現場使用時）	遵守
6	フロン排出抑制法	業務用エアコンからのフロン漏出の確認の3ヶ月毎の点検記録	遵守
7	道路交通法	道路使用の許可	遵守
		運転管理者の選任	遵守
8	地域防災協定	兵庫県・香美町との締結	遵守
9	高圧ガス保安法	高圧ガスの転倒防止対策	遵守

環境関連法規制等の遵守状況の評価の結果、環境関連法規制等は遵守されていました。

関係当局よりの違反等の指摘は、ありませんでした。また、環境関連訴訟等に関しても1件も発生してません。
なお、今年度も矢田川漁協の要請により5月上旬の鮎の稚魚放流時に2名と軽トラックにて手伝いを実施。

□代表者による全体の評価と見直し・指示

- ・178号改良（その3、その4）工事では大型ブレーカーにて岩掘削を行うにあたり、環境（主に騒音）を考慮し近隣住民宅に自社負担で防音設備を設置し工事を竣工した。
- ・現場周辺の清掃、現場事務所の整理整頓は引続き行う。
- ・上記工事を含め着手前に近隣周辺の環境調査（聞取り、施主との打ち合わせ）を行い環境対策を講じる事ができた。
- ・今期は、工事での大型重機・ダンプトラックの使用が増えたことによりCO2排出量は増大した。来期以降本社事務所、倉庫の電力消費量の低減、ガソリン燃料のkm当たり、重機の時間当たりの排出量の削減、併せてCO2排出量（総量）の低減を目指す。

☆ 環境経営方針、環境経営目標・計画、実施体制に変更はない。

2024年6月29日
代表取締役 今後 武司